

日本赤十字九州国際看護大学AP事業 卒業時の質保証  
「学士課程教育」と「看護現場での現任教育」のシームレスな接続を目指して

概要

本学ではAP事業において、生涯学び続け、成長し続ける看護人材を育成するために、学士過程教育と就職先での現任教育とをシームレスに接続する「看護職キャリアパス基礎スケール」と「ディプロマ・サプリメント（学位証明書補足資料）」の開発を行った。これにより、卒業時の学修成果を社会から評価することを可能にし、適切な現任教育に繋げることができ、看護基礎教育からエキスパートナース育成までの一貫した教育システムの確立に貢献できると考える。

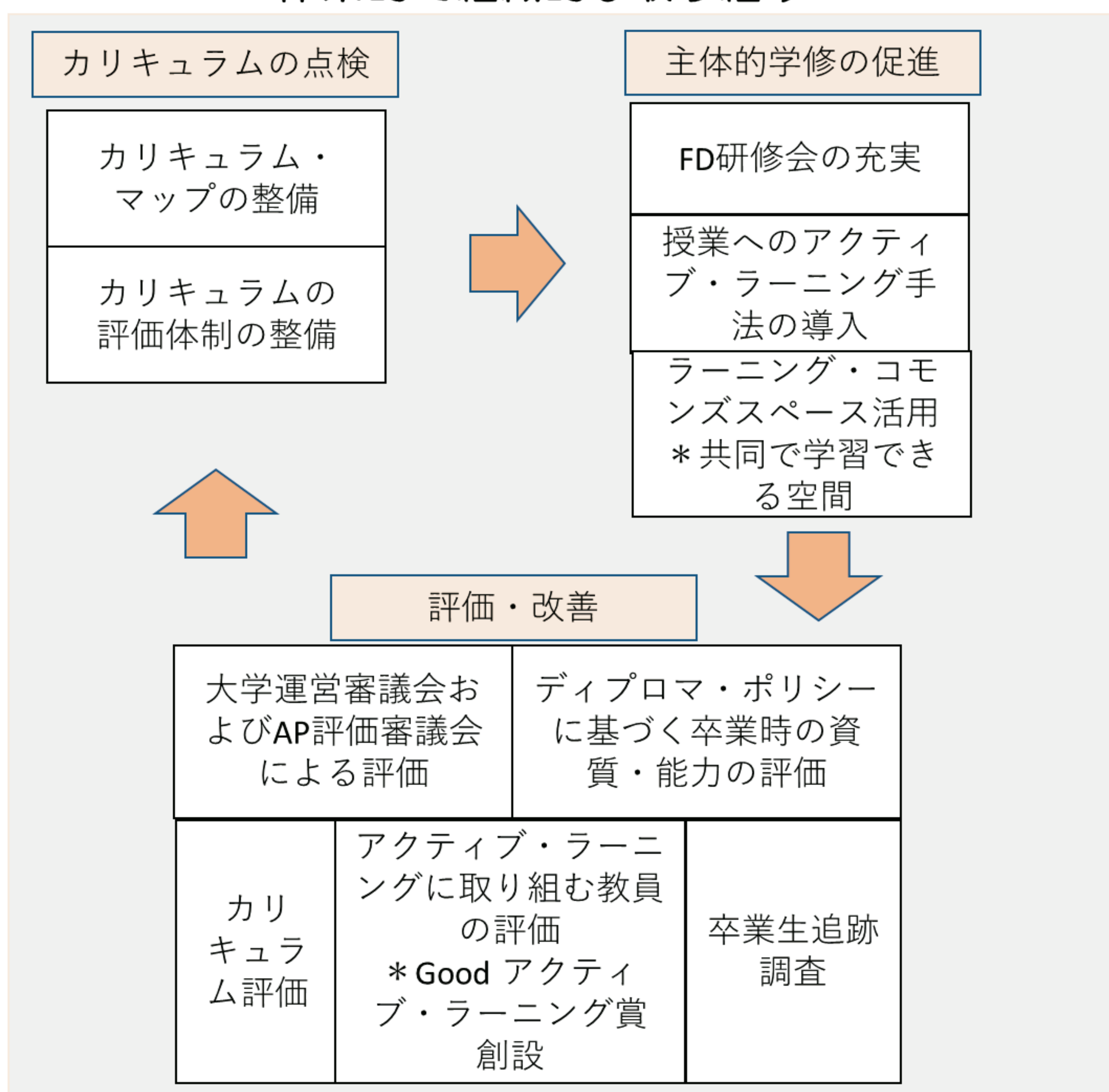
事業計画

- ① 3ポリシーに基づく体系的で組織的な教育の確立
- ② 看護職キャリアパス基礎スケールの開発
- ③ ディプロマ・サプリメントの整備

本学のAP事業のこれまでの具体的な取り組み

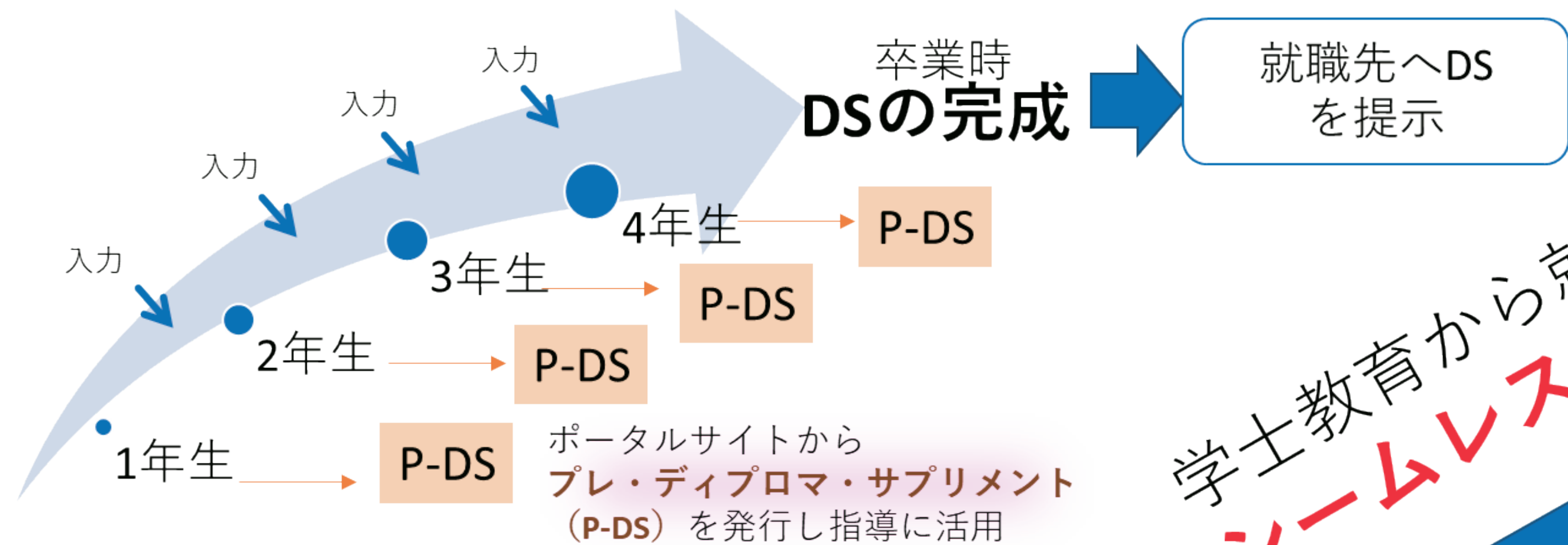


体系的で組織的な取り組み



本学のAP事業の成果

ディプロマ・サプリメント (DS)



学士教育から就職後の現任教育までシームレスにつなぐ！



就職



学生向け APハンドブックの作成



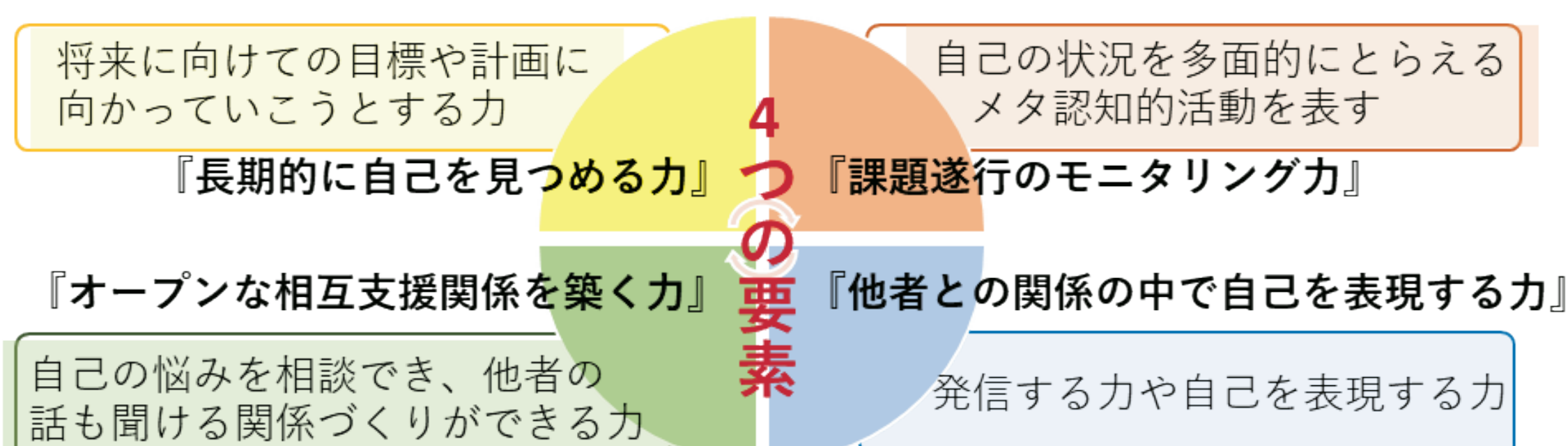
在学中



将来の夢・目標

学年毎に将来の夢・目標を入力  
将来の方向性を明確にして振り返りを実施、課題や学修成果、成長の過程を記録し蓄積していく。

看護職キャリアパス基礎スケール



卒業時および、就職後の現任教育において看護職キャリアパス基礎スケールを活用する。新人期やキャリアの節目を乗り越えるために必要となる資質・能力を測定でき、個別の支援に活用ができる。

